

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 西大寺運送有限会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒704-8138 岡山市東区神崎町1830-1	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	一般貨物自動車運送業 従業員：210名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社		岡山市東区神崎町1830-1	
	②	岡山物流センター		岡山市南区箕島2153-1	
	③	北部物流センター		美作市巨勢833-1	
	④	津山物流センター		津山市神戸466	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 200 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度 (1 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	5,366 t CO ₂			5,312 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	本社		3,220 t CO ₂					
	②	岡山物流センター		376 t CO ₂					
	③	北部物流センター		1,502 t CO ₂					
	④	津山物流センター		268 t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 車両台数	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		26.830 t CO ₂ / (台)	26.560 t CO ₂ / (台)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

弊社の排出している温室効果ガスの主な起源は燃料である。今後の事業拡大に伴い、増車の可能性も高い為、車両台数に比例して総排出量が増加する可能性が高い。総排出量では達成率が分かりにくくモチベーションダウンに繋がりがねないので、弊社ではトラック1台当たりのCO₂を5年で3%削減する目標を設定。毎年0.6%ずつ削減を目標に取り組んでいたが、この1年で1%と目標を再設定することとした。個々の燃費改善が最重要課題と考え、様々な取り組みを実践する。

【目標削減率達成のための推進体制】

<p>ISO14001に基づき環境改善を推進する。 燃費・節電の重要性を全従業員に指導・徹底する。 再生可能エネルギーを積極的に活用する。 最新適合車種の導入をする。</p>

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
<p>全社</p>	<p>冷暖房の温度固定 LED照明の導入 最新適合車両の導入 クールビズ、ウォームビズの推奨 新入社員の添乗指導でエコドライブを指導。分かり易く説明できるようエコドライブチェックシートの作成。 安定走行の実施 低燃費なシフト操作を添乗指導</p>

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
<p>全社</p>	<p>こまめなアイドリングストップの徹底 社内規定速度を下げる。(一般道・高速道) 燃費が優秀なドライバーの表彰 既存・新設(グループ含む)の拠点に再生可能エネルギーを導入 タイヤの空気圧点検をこまめに行うよう指導 タイヤのローテーション実施</p>

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

<p>県内での取組</p>	<p>無</p>	
<p>その他</p>	<p>無</p>	

【再生可能エネルギーの導入計画】

<p>県内での取組</p>	<p>有</p>	<p>建物の屋根に太陽光発電パネル設置の計画</p>
<p>その他</p>	<p>有</p>	<p>可能であれば荒廃地等を利用して積極的に導入したい</p>

【その他特記事項】

<p>産業廃棄物は極力出さないよう努力し、細かく仕分けをしてリサイクル業者に出している。デジタル化を推奨し、ペーパーレス化の実現を目指す。</p>
